



「2024年3月ダイヤ改正等について」 に関する申し入れを行う！その①

2023年12月21日、「2024年3月ダイヤ改正等について」(以下、ダイヤ改正という)と合わせて、「運営体制の見直し」と「千葉支社での現業機関における柔軟な働き方」の提案を千葉支社より受けました。

今ダイヤ改正では、房総特急「しおさい」「わかしお」「さざなみ」、「成田エクスプレス」の料金体系と輸送体系が変更され、房総特急は全車指定席化となり、総武快速線や京葉線、各線区では利用状況に合わせて、輸送体系や編成両数などの変更が予定されています。

しかし「房総特急の全車指定席化」がプレス発表されて以降、お客さまのご利用実態に合っていないなど、職場から声が寄せられている中、ダイヤ改正が提案されると「京葉線の朝夕時間帯各駅停車化」に対して、自治体やお客さまから反発の声が広がり、千葉市長からは「ダイヤ改正の撤回・再考を強く申し入れた」と報道される事態も発生しています。また、組合員からも施策の提案がされる度に、お客さまのご利用状況の把握の仕方に疑問の声が寄せられている他に、一般市民のからも京葉線に対してのご意見を千葉地本に頂いています。そしてこの他にも窓口閉鎖に対して地域の皆さまからご意見を頂いており、組合員が懸念している声と一致している場合が多くあります。

私たちは、変革2027の実現に向けて、組織の再編や柔軟な働き方等を担っていますが、その前提は社員からの信頼は勿論のこと、地域の皆さまやお客さまから信頼されなければなりません。

地本は、社会的にも生活が厳しくなっている中でJRグループをご利用いただくために、地域やお客さまの声を直接頂いている組合員・社員の声を基に、「安全・健康・ゆとり」を持って組合員が働けるダイヤ改正とするため、下記の通り申し入れました。

【申し入れ項目】

1. 京葉線の朝夕時間帯について、通勤快速及び快速列車が全て各駅停車に変更となる根拠を明らかにすると共に、自治体への事前説明がどのようになっていたのか明らかにすること。また、通勤快速及び快速列車を組み込んだ輸送体系とすること。
2. 房総特急の全車指定席化と土曜・休日運休を含めた輸送体系を変更した根拠を明らかにすること。また、特急列車については現行通りのダイヤ設定とし、土曜・休日運休は実施しないこと。
3. 房総特急ならびに成田エクスプレスの料金体系を変更する根拠を明らかにすると共に、1人乗務は車内秩序維持とお客さまサービスを十分に提供できない実態があることから、2人乗務体制とすること。
4. 房総特急の全車指定席化に伴い、乗り遅れや座席未指定等の取り扱いに関して不明点が多いことから、取り扱いを明確にすること。また、ご利用するお客さまへ全車指定席を認識していただくために、事前周知の強化と案内係を配置すること。
5. 成田エクスプレスの中間運転台でのドア扱いについて詳細を明らかにすること。また、成田エクスプレスとしおさいにおいてE259系の相互運用が実施されるが、誤乗防止対策を明らかにすること。
6. 東京駅総武地下ホームから丸の内運輸区までの指定通路を明らかにすること。また、次列車までの僅少乗継があるため、トイレ付近に乗務員が一時的に待機できる椅子を設置すること。
7. 次列車までの僅少乗継があるため、東所沢駅に乗務員が一時的に待機できるスペースを確保すること。また、武蔵野運輸区からホームに出場するための通路を西船橋方ホームに設置すること。
8. 幕張豊砂駅に乗務員詰所を新設すること。また、女性乗務員の増加に対応するため、南船橋駅ホーム上のトイレをリニューアルすること。
9. 安全・安定輸送確保の観点から、新浦安駅ホームに乗務員用トイレを新設すること。
10. 千葉駅統合詰所に仮眠用リクライニングチェアを設置すること。

その②へ



「2024年3月ダイヤ改正等について」 に関する申し入れを行う！その②

11. 老朽化に伴い上総一ノ宮駅運転士乗泊を建て直すこと。また、E233系の運用増加に伴い、車両にトイレの設備がないことから、1・2番線ホームにお客さま用のトイレを新設すること。
12. 勝浦駅男性乗泊浴室のバスタブに追い焚き機能を追加すること。
13. EC・DC免許を両方持っていることで臨要員が削減になる根拠を明らかにすること。
14. 木更津駅における分併作業の業務分担を一部見直しする根拠と、故障が発生した場合の取り扱いを明らかにすると共に、安全に分併作業ができるよう教育・訓練、OJT等を実施すること。
15. 木更津駅でSuicaをご利用のお客さまが改札で事前精算を受けられるよう、内房線から久留里線への乗り換え時間を拡大すること。
16. 臨時列車や乗務員養成等で休憩時間が重なることにより、椅子が不足していることから、館山駅乗泊に椅子を増設すること。また、熱中症防止の観点から、久留里駅乗泊に冷蔵庫を設置すること。
17. E131系の運転において、空転や滑走、横揺れが多発し運転に支障をきたしていることから、原因を明らかにし具体的な対策を行うこと。また、対策を行ったものについては、職場への情報共有を早急に行うこと。
18. 銚子乗務ユニットの運転士が総武快速線内の特急を担当しなくなる根拠を明らかにすること。また、次期ダイヤ改正で泊まり行路を増やすこと。
19. 各乗泊のエアウィーヴマットレスが老朽化しているため交換すること。
20. 千葉支社の考えるライン管理とは、どのような管理体制で実施するのか明らかにすること。
21. 乗務員訓練を含めた研修等について、支社からの要請に対して実際の参加状況を明らかにすること。また、休日出勤が頻発して疲弊感があることから、休日出勤を必要としない要員を配置すること。
22. 業務の繁閑等に応じて1日当たりの出面数(作業ダイヤ)を柔軟に設定する時期など、具体的に明らかにすること。
23. 久留里線久留里～上総亀山間の交通体系に関して、久留里線検討会議での議論経過を明らかにすること。また、地域や観光等旅客流動の活性化を図る輸送体系とすること。
24. 普通列車グリーン料金の見直しを行う根拠を明らかにすると共に、カードタイプのSuicaの発売再開時期の見通しを示すこと。また、Suicaと紙で料金が異なるため、カードタイプのSuicaの発売再開時期が見通せない場合の取り扱いを明らかにすること。
25. ダイヤ改正に関わるお客さまからの問い合わせに真摯に回答できるよう、プレス発表前に社員周知を徹底すること。また、ダイヤ改正に関わる教育・訓練は、作業内容が大きく変化するため、安全確保の観点からダイヤ改正までに全社員へ実施すること。
26. ダイヤ改正実施後は労使が十分に検証を行い、問題や議論経過に変更が生じた場合は、労使間の合意形成を図るために真摯な議論を行うこと。

団体交渉の実施は 2月6日(火) に決定！
納得感のある施策にするため、皆さんの声を基に交渉します！